

論 文

寝たきり患者の在宅 ventilator care を担う 介護者の疲労の推移

荒木きみ枝・森高真由美・川畑 真紀
田畑 広美・大河 正美・亀田小夜子
(金沢医科大学病院)

The Course of Fatigue of Families Who Care a Bed-Ridden Patient with Home Ventilator Care

Kimie Araki, Mayumi Moritaka, Maki Kawabata,
Hiromi Tabata, Masami Ohkawa and Sayoko Kameda
Kanazawa Medical University Hospital

要 旨

医療依存度の高い在宅ベンチレーターケアを続行していくためには、介護者の健康状態が、重要となる。今回、介護者の健康管理を目的に、リフレッシュ入院（患者が一定の期間病院で過ごす）を導入し、「疲労自覚症状30項目質問紙」を用いて入院中、在宅介護中の介護者の疲労度の推移を調査、検討した。

結果、在宅介護中の介護者の疲労度は、高値を示し、在宅介護中と、入院中の疲労自覚症状総訴え率は、両者間に有意差を認めた。介護者の疲労回復に、一定期間のリフレッシュ入院は、有効である。その期間は、通常営業時には最低2週間、展示会中では3週間が必要である。